

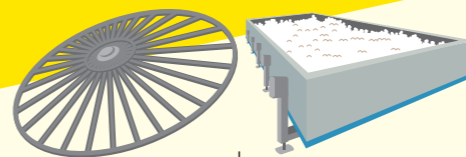
おかげさまで創業90周年を迎えました。

フジワラテクノアートは1933年に創業し、醸造機械のトップメーカーとして社会の発展に寄与して参りました。
2018年には中長期的な成長方向を描いた開発ビジョン2050を策定し、未来を起点とした事業計画を推進しています。
「醸造を原点に、微生物のチカラを高度に利用するものづくり『微生物インダストリー』の共創」を掲げ、
わたしたちが描く未来、心豊かな循環型社会の実現のために、これからも歩んでいきます。

微生物が持つ
無限の可能性を信じて、
これからも社会のために、
未来のために。

麴づくり=固体培養技術

麴づくりは、醸造食品のおいしさや生産効率を左右する最も重要な工程。そこには「固体培養技術」が不可欠ですが、微生物の活動を調整し、固体原料に均一に繁殖させることは難しく、大型化や自動制御は困難とされてきました。



自動化・大型化で開ける道

フジワラテクノアートは、これまで困難とされてきた固体培養である麴づくりを大型化・自動化する技術・装置を確立。日本をはじめ世界の豊かな食文化の発展に貢献してきました。

国内シェア80%※、世界27カ国へ

機械化が難しかった各国の醸造分野においても当社の醸造生産技術が貢献。日本の醸造食品だけでなく、各国の特色ある醸造食品に対応した総合的な技術輸出を推進しています。

※機械製麴能力 国内シェア80%



1933

微生物によるアップサイクルで、新しい価値を創造する

独自の固体培養技術を駆使し、食品副産物や未利用資源などの付加価値を高めた次世代の機能性食品・新素材の創生にも取り組んでいます。



深刻化する問題への取り組み

大量生産・大量消費型の経済社会活動は、大量廃棄型の社会を形成し、世界各地で公害、ゴミ、資源枯渇などさまざまな問題を深刻化させており、持続可能な形で資源を活用する「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」への早急な移行が世界レベルで求められています。



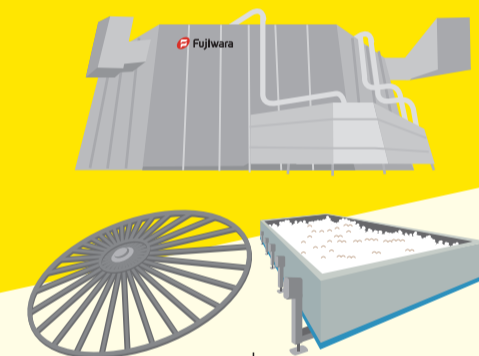
おかげさまで創業90周年を迎えました。

フジワラテクノアートは1933年に創業し、醸造機械のトップメーカーとして社会の発展に寄与して参りました。
2018年には中長期的な成長方向を描いた開発ビジョン2050を策定し、未来を起点とした事業計画を推進しています。
「醸造を原点に、微生物のチカラを高度に利用するものづくり『微生物インダストリー』の共創」を掲げ、
わたしたちが描く未来、心豊かな循環型社会の実現のために、これからも歩んでいきます。

微生物が持つ
無限の可能性を信じて、
これからも社会のために、
未来のために。

麹づくり=固体培養技術

麹づくりは、醸造食品のおいしさや生産効率を左右する最も重要な工程。そこには「固体培養技術」が不可欠ですが、微生物の活動を調整し、固体原料に均一に繁殖させることは難しく、大型化や自動制御は困難とされてきました。



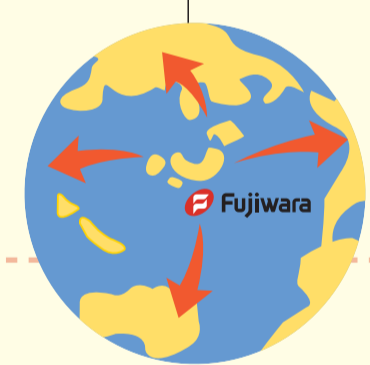
自動化・大型化で開ける道

フジワラテクノアートは、これまで困難とされてきた固体培養である麹づくりを大型化・自動化する技術・装置を確立。日本をはじめ世界の豊かな食文化の発展に貢献してきました。

国内シェア80%※、世界27カ国へ

機械化が著しかった各国の醸造分野においても当社の醸造生産技術が貢献。日本の醸造食品だけでなく、各国の特色ある醸造食品に対応した総合的な技術輸出を推進しています。

※機械製造能力 国内シェア80%



1933

微生物によるアップサイクルで、新しい価値を創造する

独自の固体培養技術を駆使し、食品副産物や未利用資源などの付加価値を高め、次世代の機能性食品・新素材の創生にも取り組んでいきます。



2023

Circular Economy

2050



深刻化する問題への取り組み

大量生産・大量消費型の経済社会活動は、大量廃棄物の社会を形成し、世界各地で公害、ゴミ、資源枯渇などさまざまな問題を深刻化させており、持続可能な形で資源を活用する「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」への早急な移行が世界レベルで求められています。

株式会社 フジワラ テクノアート

〒701-1133 岡山市北区富吉2827-3
TEL.086-294-1200 FAX.086-294-1220
<https://www.fujiwara-jp.com>

